

第 283 号（2024 年 2 月号） / 2024 年 2 月 1 日発行

狛江市 3 学期の給食費無償化実現 補正予算に盛り込む！ 4 月以降も学校給食無償化の流れを

社保協の陳情は委員会で継続に

1月24日の市議会総務文教委員会で、社保協で出していた「給食費無償の陳情」の審議があり、新婦人狛江支部周東支部長が意見陳述しました。討議では日本共産党・生活者ネットは採択を主張しましたが、自民・維新・公明党は東京都がはっきり決まるまでと継続を主張し、結果継続審議となりました。

市は2月1日の臨時議会で補正予算提示

ところが同日午前市の議会代表者会議で、2月1日の臨時議会で小・中学校の三学期分の給食費を無償にする予算を提出することが分かりました。

この間の新婦人や社保協の運動の成果です。新年度も継続になるように、さらに運動を上げましょう。新年度も無償を実現させましょう。

それにしても、陳情の継続を主張した各党は、市民の意見はあくまで聞かないということなのででしょうか。

東京都は都立・私立高校の授業料を無償に！

東京都は1月26日、公立学校の給食費保護者負担を市町村が無償化・軽減した場合、その2分の1を補助することや、都立・私立高校の授業料のを所得制限なしで無償化するなどの24年度予算案を発表しました。長年の全都の運動の成果です。

「図書館分割」が「現在地で充実」が 中央図書館のあり方は住民投票で市民が選ぼう

2/9～3/9（予定）

12月23日（土）午前、ちょっと待って図書館移転連絡会こまへの呼びかけで住民投票の

会の立ち上げ集会が開かれ、39名の参加で標記の会を発足いたしました（以下「住民投票の会」と略記）。

住民投票を行うためには、まず市民の意見を問いたい課題について個別の住民投票条例を作る必要があります。市長・議会から提起がなければ市民が有権者の50分の1以上（約1400人）の署名を集めて条例制定を要請することができます。住民投票の会は、まず住民投票条例制定要請署名に取り組みます。

要請署名には代表者とその委任を受けた人（受任者）が対面で集めなければならない、署名は有権者のみで、自筆でなければならない、期間は1ヶ月など厳しい条件があります。多くの方に受任者になっていただくとともに、多くの方に知っていただくための宣伝、働きかけが必要です。

チラシが各戸に配布されて、見た方からの署名に協力したいとの問い合わせも届き始めました。ポスターも貼り出し、駅頭、市役所前で

の宣伝でもチラシの受け取りや声をかける方もいつもより多く感じられます。

署名活動の説明会も2回開きましたが、再度開く必要性を感じています。地域で、あるいは団体に集まる機会があれば、説明に伺いますので声をかけてください。

署名期間は、市長の請求署名の代表者証明書の交付があつてから1ヶ月（暦日）となります。住民投票の会では2月9日から3月9日が投票期間となるよう市の事務方と調整しています。決まり次第直ちに受任者となってくださる方の元に署名簿が届くよう準備を進めています。街頭宣伝・署名活動や作業もいろいろありますので、手伝ってくださる方、募集中です！

（狛江図書館住民投票の会 周東三和子）

住民投票条例制定要請署名の受任者になってください。

* 署名は制定請求の代表者か、その委任を受けた受任者（サポーター）が直接面談して、自筆で署名してもらう必要があります。たくさん署名を集めるには、大勢の方に受任者になって署名を手伝っていただきたいのです。

* 受任者は、市内に住んでいる有権者なら誰でもなれます。ただ、市の職員、都職員、国家公務員、公立学校の教員、教育委員は受任者になれません。非常勤職員、議員はなれません。

* 受任者になって家族の分、お知り合いの分だけでも集めていただくと、大勢の署名を集めることができます。

* 受任者になっていただくと、請求者署名簿という冊子をお届けします。1冊に10人書ける署名用紙が付いています。

1冊目がいっぱいになったら、新しい署名簿を

お届けします。10人埋まらなくとも構いませんので、終了次第事務局に連絡ください。

* 受任者になっても良いという方は、事務局まで氏名、住所、連絡先をお知らせください。詳しい署名の集め方の資料をお届けします。

こまえ図書館住民投票の会事務局
<仮事務所> 和泉本町1-3-1-602（立川）
立川 節子 080-5403-4168
jyumin2024@gmail.com

林 健彦 080-3208-2074
kenyupd6@yahoo.co.jp

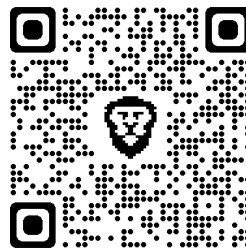
周東 三和子 090-9012-0654
mshuto2612@gmail.com

小俣 三郎 03-3488-1437
komae.omata@tb3.so-net.ne.jp

ホームページができました！

<https://komae-shimin.tokyo/choice/>

署名手伝ってくださる方へのお願いや、
チラシもダウンロードできますのでご活用ください。



子どもの発達から見た図書館の価値を前提に

広木克行(神戸大学名誉教授)

狛江市の中央図書館分割計画には強い違和感がある。市民に開示すべき計画の決定過程の非公表にも憤りがあるが、図書館を大人用と子ども用に分ける計画の内容には、子どもの発達の権利への無関心が随所に現れていると思うからだ。

無関心の一つは、観察と模倣を発達の原動力とする幼少期の子どもたちから、貴重な環境を奪うという認識の欠如に現れている。幼子が言葉を覚え、二足歩行を獲得し、絵を描きながら文字を覚えて育つのは、誰かに教えられたからではなく、周囲の大人の言動を観察し模倣する子ども自身の力に依る。

図書館分割を肯定する理由に「子どもがうるさいから」という声もあったと聞く。子

どもが、文字文化に触れる多様な大人の姿に出会えるという図書館固有の価値を前提にして再検討すべきだ。

もう一つは、子どもの意見表明権を明記した「子ども基本法」*の理念に則っていないことだ。子どもの声と市民の声を無視したままでこの計画が強行されれば、分割された図書館は時の経過と共に松原市政の汚点を顕す記念碑にも成り兼ねない。

狛江市は今一度原点に戻って市民と専門家の声を聞く必要がある。

* (「子ども基本法」は2022年6月15日に成立した法律で、「日本国憲法と子どもの権利条約に則って」基本理念を定め、「その年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重される」と規定している。)

PFAS汚染は全国に！

多摩の医療機関が独自血液検査へ

PFAS 汚染を明らかにする狛江の会 重国たけし

国際機関でのがんリスク評価ランクアップ

発がん物質・PFAS(有機フッ素化合物)は水や土を汚染し、ヒトの人体にも蓄積されています。地

球規模の汚染は過去最悪の「公害」ともいわれ、健康を左右する決定要因のひとつです。

2023年11月末にはWHO・国際がん研究機関(IARC)がアスベストやダイオキシンと同じくPFOSを「発がん物質」、PFOAを「発がん

性の可能性あり」とし人体へのリスク評価を高めました。

全国各地で汚染実態が明らかに

そしていま、全国で次つぎと汚染実態があきらかになってきています。比較的早くから取り上げられてきた沖縄県や東京都多摩地域は米軍基地で使用・流出したPFASを含む泡消火剤が主な原因と考えられ、また大阪府摂津市はダイキン工業で製造・利用されたPFASが原因と考えられています。それ以外にも、青森、福島、神奈川、静岡、愛知、岐阜、三重、京都、兵庫、岡山、広島、熊本など暫定指針値を超える汚染があきらかになり、米軍基地や半導体工場、産廃置き場などが発生源と考えられています。独自の調査などの動きが広がったことで新たな汚染があきらかになったかたちです。

多摩地域でも、実態解明と対策を求める市民の取り組みが広がり、議会での意見書採択などもあり、国分寺市などにつづき調布市や府中市でも市が独自の水質調査がおこない、1・2月にも結果が公表されることになっています。

いっぽうで、国の動きは鈍く、「疾病との因果関係は必ずしも明確ではない」といった見解が繰り返され、踏み込んだ対策の強化を拒み続けています。

4月から医療機関で独自血液検査を予定

血液検査についても、新たな動きが出てきました。これまで住民組織・「多摩地域のPFAS汚染を明らかにする会」が京都大学と共同した血液調査で、狛江も含めて「多摩地域の住民のPFAS血中濃度は高い」と判明しました。多くの住民から地下水汚染や職業的PFAS暴露、さらに子どもの体内汚染を危惧する声が大きくなっています。

こうしたなか、「多摩PFASの会」に加入し、PFAS検査協力と結果相談外来を開設した健生会（医療法人社団・民医連）が今年4月以降、希望

者への採血受付を予定しています。費用については検討中です。

検査実施とともに、血液検査への公的助成や診療報酬に検査項目を要望する運動に住民のみなさんとともに取り組む方針といたします。

こうした動きとも連携しながら、健康被害から住民を守る対策を、国に都に自治体に要請していきましょう。

★2月下旬から3月上旬に開催される「中央公民館のつどい」では、PFAS汚染を明らかにする狛江の会でも、パネル展示やDVD上映会などを予定しています。ぜひお立ち寄りください。お待ちしております。

<本の紹介>



狛江市民の血液検査の分析を行った原田浩二
京都大学准教授の新刊『これでわかるPFAS汚染』（合同出版）



都民と野党で共闘を

1・24 どうする東京 変えよう都政！2024 キックオフ集会



6月20日の告示まで5か月となった東京都知事選（7月7日投開票）を「市民と野党の共闘でたたかおう」と1月24日、都民集会「どうする東京 変えよう都政！2024キックオフ」が中野ゼロホールで開かれました。主催は都民団体や地域で共闘に取り組む人たちでつくる実行委員会です。

「都知事選を市民と野党の共闘で」と訴える「呼びかけ人会議」の五十嵐仁・法政大学名誉教授が「能登半島地震で、公務員や医療・介護・福祉など公共の役割の大切さを痛感した。小池都政を命と暮らしを守る都政、都民の願いに寄り添う都政に転換しよう」と呼びかけました。

都政を取り戻そう

前回の都知事選候補者として検討した宇都宮健児弁護士が「都知事選で重要政策に掲げた

高校・大学の授業料無償化パートナーシップ制度が実現している。小池都政は五輪汚職を検証

せず、樹木を伐採する神宮外苑再開発を進め、カジノ誘致もあいまいだ。貧困と格差が広がる今、都民と野党が協力して都政を取り戻そう」と連帯あいさつしました。

各分野・野党から

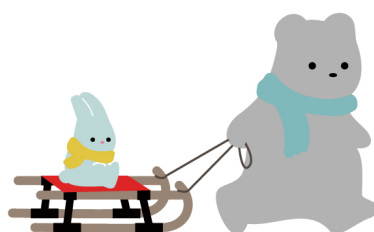
子育て、障がい者、業者、神宮外苑再開発問題、気候危機問題、街壊し道路計画など各分野からリレートークし、「各分野・地域で共闘組織を確立し、共通政策の作成、候補者選定に進もう」との行動提起を確認し、政党から立憲民主党、日本共産党、社民党、新社会党、緑の党、東京・生活者ネットの代表が決意を表明しました。

（写真 東京憲法会議・田中章史氏提供）

2月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。
 ※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、300部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(土) 14時～15時	狛江駅前北口 広場	Silent Standing	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》
9日～3月9日 (予定)		図書館住民投票条例制定請求 署名	こまえ図書館住民投票の会
中止	みんなの広場	「豊かな狛江」3月号 編集会議	住民投票条例生手の請求署名開始予定日なので変更。
9日(金) 15時～16時	狛江駅前	9の日行動 = 駅前署名・宣伝行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
15日(木) 14時～16時	中央公民館 第2会議室	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
26日(月) 14時～16時	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
27日(火) 9時30分～	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』 3月号の製本・仕分け作業	折り込みのある団体はご参加ください。
27日(火) 14時～16時	東京土建狛江 支部会館	戦争なんてイヤだ！全体相談会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
28日(水) 14時～16時	東京土建狛江 支部会館	こまえ社保協事務局・役員会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
28日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》 の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部などが中心。第4水曜日。



北陸電力と志賀原発でのトラブルの問題

～再稼働審査は中止して、廃炉に～

【原発と気候危機を考える会】 須貝光典

フリー記者の犬飼淳氏が2024.01.13に配信した記事を要約してお知らせします。詳しい内容はインターネット(<https://tinyurl.com/youqz6mjo>)を参照してください。

氏がこの記事で言いたいことは2つ。「原発」と「津波」の報道の二つで、「意図的な矮小化・隠蔽」が疑われることを指摘しています。つまり、『能登半島地震の震源地近くの志賀原発について、北陸電力は問題をいったん小さく発表した後に「訂正」という形で実際はもっと大きな問題だったと明かすことを繰り返していること。訂正に至る期間の短さ、訂正するボリュームの大きさ、発表方法などから判断して、もはや「訂正」の域を超えており「意図的な矮小化・隠蔽」が強く疑われる』ということです。

「原発」の問題では、1) 2号機の油漏れ、2) 空間線量測定、3) 最大加速度の想定越えの3つで分析していますが、1)「2号機の油漏れ」では、地震翌日の1月2日の「約3500リットルの漏れ」で、「外部への影響はない」が3日後に「5倍(1万9800リットル回収完了)」と訂正、8日後の10日には、「海面に新たな油膜(100m X 30m)を確認(現場写真は不掲載)」と訂正。このように、最初情報は小出しに発表している疑いがあります。

2)の「空間線量」については、毎回のプレスリリースで、「発電所に設置しているモニタリングポストの数値に変化はなく、外部への放射能の影響はない」と報道しているが、4日夜に、14ヶ所で空間放射の線量測定(モニタリングポスト)が不可能と発覚(原子力規制委員会が発表)。9日時点でも9ヶ所で測定不可能だった。このような状況で、「外部に問題はない」とどうして判断できるの

か疑問。

3)の「最大加速度の想定越え」に関しては、10日に原子力規制委員会が、最大加速度が想定を上回ったことを報告。なお、北陸電力は9日に原子力規制委員会に報告しているが、自らはプレスリリースで報告していない。実際は、1号機は想定918ガルに対して957ガル、2号機は想定846ガルに対して871ガルだった。なお、2014年5月に関西電力大飯原発3、4号機の運転差し止めを命じた元福井地裁の判事の樋口英明さんのご自宅の家の耐震性は3000ガルで志賀原発の基準値の3倍強。志賀原発の耐震性基準がいかに脆弱であるかが分かります。

第二の論点である「津波の有無」に関しては、3日に、「取水槽内海水面の3m上昇を確認」と発表。地震9日後に海に面している取水口および物揚場付近の約3mの水位上昇も確認していますが、報告では「津波」という言葉を使っていません。

このような「意図的な矮小化・隠蔽」が強く疑われる北陸電力に原発を稼働する能力があるとは思えません。稼働停止していて良かったと思うのは私だけではないでしょう。

能登半島地震は多くの家屋が被災し、道路が寸断されました。もし原発事故が起きれば避難も自宅に閉じこもることも不可能です。

地震大国の日本に安全な原発などありません。再稼働審査は中止して、廃炉にして欲しいものです。

9 の日行動

1月9日（火）15時～16時

狛江駅北口

16人参加で署名は18筆でした。

こまえ図書館住民投票の会
<https://komae-shimin.tokyo/choice/>



狛江の自然



水仙

市内バス通り沿いの街路樹の植え込みには今スイセンが咲き誇っています。植え込みでは四季折々にナガミノヒナゲシ、彼岸花、キバナコスモス、タマスダレなどの花々が季節の到来を告げ、市民の目を楽しませてくれます。

（中和泉 周東三和子）